

[PRESS RELEASE]

皆藤 齋、松本 菜々、水上 愛美

KAITO Itsuki, Nana Matsumoto, Emi Mizukami

## 「Fungal Fugue」

2023年5月20日(土) - 6月24日(土) \*但し6月14 - 17日は休廊

レセプション: 5月20日(土) 18:00 - 19:00

この度HAGIWARA PROJECTSでは、5月20日より皆藤齋、松本菜々、水上愛美の三名のアーティストによるグループ展「Fungal Fugue (ファンガル フーガ)」を開催します。

皆藤齋の絵画には、鮮やかな色使いで手足や、拘束具、刃物など様々なイメージが描かれています。それらのイメージは、インターネットから拾った実体のない表象であり、彼女自身の記憶や体験、意識あるいは無意識を表すメタファーとして使用され、コラージュのように組み合わせることで独自の意味や解釈を生み出します。異質な世界にも見えますが、人間の内面にある本質を瑞々しい世界観で表現しています。

松本は、ファウンドフォトや古書の図版を用いて、そこから連想される全く異なるオブジェクトを作成し、さらに平面やオブジェと組み合わせることであらたな物語や空間を作り出します。イメージと事物との間に存在する時間や空間、それによって生まれてくる因果的、もしくは非因果的な解釈の関係を再構築し、多義的な物語を生み出します。

水上は、描いた絵の上から砂が混ざった顔料で塗りつぶし、完全に不可視にした上から新たなイメージを描くことで、一つの作品の中に見えない領域を作ります。人間には見えないけれど想像できるものに関心があるという作家は、神話やSFなどからの引用を用いて、人間の未知の領域に対する時間や現実、仮想空間など様々な想像力を喚起します。

「Fungal Fugue」は、「菌類の遁走」という意味の造語です。それぞれの作品上のイメージ同志は、形式的だけではなくどこか有機的な粘着性を持って結合され響き合います。作家が関心をよせるイメージの収集と接続の仕方をぜひご覧ください。

皆藤 齋、松本 菜々、水上 愛美

KAITO Itsuki, Nana Matsumoto, Emi Mizukami

「Fungal Fugue」

会場: HAGIWARA PROJECTS

住所: 〒135-0006 東京都江東区常盤 1-13-6-1F

T/F: 03-6300-5881 E: info@hagiwaraprojects.com www.hagiwaraprojects.com

(都営新宿線・大江戸線 森下駅徒歩6分 / 半蔵門線・都営大江戸線

清澄白河駅 徒歩7分)

会期: 2023年5月20日(土) - 6月24日(土) \*6月14日 - 17日 休廊

レセプション: 5月20日(土) 18:00 - 19:00

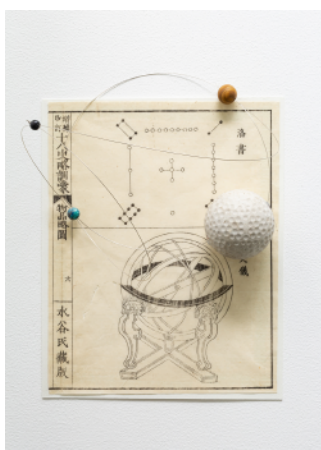
# HAGIWARA PROJECTS

1-13-6-1F Tokiwa, Koto-ku, Tokyo 135-0006 Japan  
T/F: +81 (0)3 6300 5881 E: info@hagiwaraprojects.com  
www.hagiwaraprojects.com



皆藤 齋 (KAITO Itsuki)

1993年北海道生まれ、東京都在住。2019年京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻修了。近年の個展に、「The Elastic Edges」 Ritsuki Fujisaki Gallery (2023, 東京)、「The Monopolistic Sweet Spots」 MAMOTH (2022, London)、「現れるのに勝手はない」 LEESAYA (2022, 東京)、「In search of...」 14a (2020, ハンブルグ, ドイツ)など。近年のグループ展に「CARE PACKAGE」 Blue Velvet Project (2023, チューリッヒ, スイス)、「The Tale of Tales」 G Museum (2022, 南京市, 中国)、「Temple」 curated by Michael Kennedy」 Seventh Gallery (2022, メルボルン, オーストラリア)など。



松本 菜々 (Nana Matsumoto)

1986年千葉県生まれ、神奈川県在住。2010年東京造形大学大学院造形研究科造形専攻美術研究領域修士課程修了。主な個展に「Polyonymous」 LOOP HOLE (2022, 東京)、「Multiple Elements」 gallery valuer (2013, 愛知)など。主なグループ展に「目的」 Artist-run space Merdre (2021, 東京)、「雨足に沿って 舵をとる」アキバタマピ21, 3331 Arts Chiyoda (2020, 東京)、「路傍の絵画」アートラボはしもと (2015, 神奈川)、「Field of Painiting」都美セレクション 東京都美術館 (2014, 東京)など。



水上 愛 (Emi Mizukami)

1992年東京生まれ、神奈川在住。2017年多摩美術大学絵画学科油画専攻卒業。主な個展に、「And so it goes」 Larder (2023, ロサンゼルス)、「Dear sentiment」 トーキョーアーツアンドスペース本郷 (2021, 東京)、「Paintings for stranger」 トーキョーアーツアンドスペース本郷 (2020, 東京)など。主なグループ展に、「Letters, Lights, Travels on the Street」 curated by Jeffrey Ian Rosen」 Nowhere (2022, ニューヨーク)、「VOCA展2022」上野の森美術館 (2022, 東京)、「4649 at Pina」 Pina (2020, ウィーン)、「チツチャイノ展」 LOOP HOLE (2020, 東京)など。